

〈あそび〉からの幼児の音楽保育

——音楽ゲーム——

中 野 正 以

〔序 論〕

幼児保育は領域別保育もさることながら、領域関連保育も大切であり、また、その特長であると思う。

幼稚園には、文部省・『幼稚園教育要領』に定めた「健康」、「社会」、「自然」、「言語」、「音楽リズム」、「絵画製作」の所謂“六領域”がある。

これは、幼稚園修了までに幼児に指導することが望ましい〈ねらい〉を示したものであり、小学校以上の“教科”（科目）とは趣旨、性格を異にするものである。従って、幼児保育は領域別保育のみに固執すべきではなく、寧ろ、領域関連保育の分野をもっと拡張すべきである。これらの裏付けとして、『幼稚園教育要領』も「六領域は相互に密接な関係があり……」と領域関連保育の推進を示唆している。

領域関連保育には大きく二つの態様があると思う。

すなわち、“六領域”の中のいくつかを総合して推進するものと、その中の一つから出発して、関連性のある他の領域へ発展的に推進して行くものである。

A) 総合的保育としては、オペレッタや演劇、それに、絵画製作や図画工作に音楽を絡めた、人形劇、紙芝居等が考えられるが、後者は兎に角として、前者は「お遊戯会」等の催しもの際に行われることが多いようである。これらを平素の保育の中にとりいれて欲しいものである。（春、秋の園外保育や夏のキャンプなどは大きな総合的保育であるが、季節的特別保育であるから、常時保育の対象にはならない）

B) 発展的関連保育としては、たとえば、季節をバックとした教材として「つばめ」を選ぶ。

- 1) 自然の領域から出発する——スライドや絵、写真などを見せて、つばめの話をする。
- 2) 次に、つばめのうた（音楽）に導入する。
- 3) 最後に、そのうたを動作で表現させる。e t c

さて一方、幼児保育にとって、もう一つ重要なことは〈あそび〉である。

換言すれば、幼児の生活には、その底流に〈あそび〉がある。すなわち、幼児は〈あそび〉の中から、観察し、知識を得、工夫を凝らし、創造する。そして成長する。

これをふまえて、領域関連保育を加味した幼児の音楽保育を考えてみた。

〔本 論〕

音楽を中心とした〈あそび〉からの幼児保育として、さまざまな形式や方法が考えられるが、私案として、ここに「音楽（音感）カルタ」、「早口うた」、「数のうた」、「手あそびうた」の四部門を挙げ、各部門ごとに詳述しよう。

I 音楽カルタ

1. 〈ねらい〉は音感訓練と楽しい歌唱教育であるが、うたの題材を絵に表現する（絵画製作）関連保育の含みもある。

2. 楽譜（カルタの読札に相当する）と絵札（カルタの取札）の準備

「いろはカルタ」であるから、48曲（枚）であるが、「を」、「ゐ」、「ゑ」、「ん」を除くから実際には44曲となる。

(イ) 幼児に適する“うた”を選ぶ。

児体的で、わかり易い題材であること。——人物、動物、植物、品物、風景、自然現象など……

先ず、よく知られている既成曲の中から題材を探す。既成曲中に見当たらない場合は新作（詞曲共）するか、それを除いてもよい。44曲全部揃わなくてもカルタ・ゲームは出来る。

(ロ) 選曲が終わったら、その題名の頭字をいろは……に当て嵌めて、楽譜にその記号をつける。

◆往々にして、題名を疎かに扱い、その“うた”の出だしの歌詞を以てその“うた”を指す場合があるようである。たとえば、「靴が鳴る」という題名を呼ばずに「お手々つないで」と表現するように……題名はその“うた”全体を表わす大切なものであることを念頭に置いて欲しい。

(ハ) “うた”がきまったら、その題名や内容を表現する絵札（取札）を作製する。園で行うのであるから、家庭用（普通）のものより大型にする。

(ニ) 絵札の右肩に、平仮名で題名の頭字を書き入れる。

3. カルタ・ゲームのやり方

(イ) カルタに収録した“うた”は、ゲームに関係なく、平素の保育の中で、歌唱教材として取扱って置く。

(ロ) 予定時間内で1ゲーム出来るように枚数を計算して、絵札を無作為にバラ撒く。

(ハ) カルタの読札に相当するのは楽譜であるから、教諭（保母）がピアノで該当曲を弾く。（うたったり、声を出してはいけない）

その曲の題名がわかって、該当絵札を探し当てるまでピアノは弾き続ける。

(ニ) だんだん慣れてきて、早く取れるようになったら、百人一首のように、曲の前奏（百人一首の上の句に相当する）演奏中に取れるように指導するとよい。

(ホ) ゲームが終了したら、絵札を取った園児が、その絵札のうたを独唱するのもおもしろい。

◆私の選んだ音楽カルタの曲目

- | | |
|--------------|---------------|
| ①いぬのおまわりさん | ③うみ |
| ②ろばさん (新) | ④野菊 |
| ③花・はと・ピアノ | ⑤おもちゃのマーチ |
| ④にんぎょう | ⑥靴が鳴る |
| ⑤ほうほうほたる | ⑦山羊さんゆうびん |
| ⑥へちまのマイク (新) | ⑧まつぼっくり |
| ⑦とんぼのめがね | ⑨けん玉けんちゃん (新) |
| ⑧ちかてつ | ⑩ふみきり |
| ⑨りすりすこりす | ⑪こいのぼり |
| ⑩ぬい針 (新) | ⑫えんそく |
| ⑪るすばん (新) | ⑬てるてる坊主 |
| ⑫わた毛がとぶよ (新) | ⑭あひるの行列 |
| ⑬かにのしゃぼんだま | ⑮さくらさくら |
| ⑭よい子のあいさつ | ⑯金魚のひるね |

◆楽譜例示

わた毛がとぶよ

小春久一郎 作詞
中野正以 作曲

楽しそうに (♩ = 88~100)

1. わ た げ が と ぶ よ
2. と ん で と ん で と ん で と ん で そ ら に き え た よ
い け に お り た よ

1. そ ら に タ ン ボ ポ を さ か せ る の か な
2. い け に タ ン ボ ポ を さ か せ る の か な

- ㊸ たなばたさま
- ㊹ れんげのベッド (新)
- ㊺ 空へのぼったふうせん
- ㊻ つばめのおんぶ
- ㊼ ねこふんじゃった
- ㊽ ながぐつ
- ㊾ らくだ
- ㊿ むすんでひらいて

- ㊸ 夕焼小焼
- ㊹ めだかの学校
- ㊺ 南の国
- ㊻ 静かな湖畔
- ㊼ ひのまる
- ㊽ もみじ
- ㊾ せっけんさん
- ㊿ 雀のお宿

〔注〕 (新) は音楽カルタのための新作

㊸ わた毛がとぶよ

1. わた毛がとぶよ

とんで とんで とんで とんで
空に消えたよ
空にタンポポを
咲かせるのかな

2. わた毛がとぶよ

とんで とんで とんで とんで
池におりたよ
池にタンポポを
咲かせるのかな

II 早口うた

早口ことばも亦、子どもや幼児にとって楽しい<あそび>である。同年齢の普通の幼児

より口のまわりの鈍い幼児には、この<あそび>はよい訓練になる。

初めはゆっくり言わせ、次第に速度を早めるとよい。

幼児に適する早口ことばを易しい順に拾ってみると……

1. 一輪車、二輪車、三輪車。
2. 急救車、消防車、撒水車。
3. 生麦、生米、生卵。
4. 隣りの客はよく柿食う客だ。
5. 巣鴨の子鴨、駒込の駒鳥。
6. 坊主が屏風に上手に坊主の絵をかいた。(以下略)

更に、メロディにのった早口うたは一層おもしろいし、ことばよりも、口も滑らかによく動く

◆絵札例示



児童科副手・鈴木郁子画

ものである。

◆早口うたに適する曲目を挙げて、中の一曲の楽譜を例示すると……

1. かなりや
2. バスっていいな
3. かえるの合唱
4. ひばり
5. 汽車ポッポ
6. 花嫁狐 (以下略)

汽 車 ポ ッ ポ

本居長世 作詞
作曲

Allegro

おやまのなかーゆく きしゃポッポ
ポッポポッポくろいけむをだし シュシュシュしろいゆげふいて
きかんしゃときかんしゃがまえひきあとおし なんださかこなさか
なんださかこなさか トンネルつきょうポッポポッポ トンネルつきょうシュシュシュ
トンネルつきょうトンネルつきょう トンネルトンネルトントン との ぼりゆく

汽車ポッポ

お山の中ゆく 汽車ポッポ
ポッポポッポ黒い けむを出し
シュシュシュ 白い湯気ふいて
機関車と機関車が まえ引きあと押し
なんだ坂こんな坂 なんだ坂こんな坂
トンネル鉄橋 ポッポポッポ
トンネル鉄橋 シュシュシュシュ
トンネル鉄橋 トンネル鉄橋
トンネルトンネル

Ⅲ 数のうた

幼児にとって、数量の観念と簡単な計算は大切なことであるが、これを真正面からのみ推進すると無味乾燥に陥り、興味を示さない幼児の出てくる可能性もある。

“うた”を利用して〈あそび〉の中で行うと興も出てくるので効果も挙がる。

これまた、昔から「わらべうた」、「あそびのうた」などに“数のうた”が少なくないのも当然といえよう。

たとえば……

「一番はじめは一の宮……」、「一つとや……」、「いちじく、にんじん……」
などがよく知られている。

これら、数のはいっている「わらべうた」や「あそびのうた」を探して、おはじきや毬つき、遊戯などをしながらうたわせるとよい。

以上は1から10まで、順に数を追った所謂「数えうた」であるが、これとは別に、各の数を別個に取扱ったうたも必要である。

A) 数の観念を正確に植えつけるうた

1. 一番星みつけた
2. ふたあつ
3. 三びきのねずみ
4. 四匹のお馬
5. 五重の塔（新）
6. 六角堂（新）
7. 七つの子
8. 八手の葉っぱ（新）
9. 九人のくろんぼ
10. 十人のインディアン

〔注〕（新）は新作

◆歌詞例示（楽譜略）

八手の葉っぱ 山下佳代子作詞

1. 八手の葉っぱは 大きな葉っぱ
天狗がうちわに 使った話
母さん聞かせて くれました
2. 八手の葉っぱは 愉快的葉っぱ
いろんなお面が 造れることを
母さん教えて くれました

B) 計算のうた

簡単な加法（たしざん）と減法（ひきざん）も“うた”を利用するとおもしろいと思う。

この種の“うた”は頗る僅少であるから、既成曲の中に見出すことは難しい。教諭（保母）の手で創作して欲しい。

◆例示

(イ) 加法（歌詞抜萃）

電車ごっこ（既成曲）

運転手は君だ 車掌はぼくだ

あとの四人は 電車のお客（以下略）

○電車ごっこをしているのは皆でなん人でしょう？

(ロ) 減法（楽譜）

なわとびホイ

清水葉一 作詞

中野正以 作曲

はずんで *mf*

な か よ し ご に ん で な わ と び ホ イ お お な み

mp

こ ー な み じ ょ う ず に ホ イ か あ さ ん よ ん で る

い ち ぬ け た わ た し も さ よ な ら に ー

ぬ け た

The musical score is written on four staves. The first staff begins with a treble clef, a 2/4 time signature, and a mezzo-forte (mf) dynamic marking. The melody consists of eighth and quarter notes. The second staff continues the melody with a mezzo-piano (mp) dynamic marking. The third and fourth staves complete the piece with a final cadence. The lyrics are written below the notes, with some words underlined or grouped together.

なわとびホイ

なかよし五人で なわとびホイ

大波小波 じょうずにホイ

母さん呼んでる 一ぬけた

わたしもさよなら 二ぬけた

○まだ残ってなわとびをしているのはなん人でしょう？

IV 手あそびうた

幼児のあそびには“うた”が伴うことが多い。すなわち、うたいながら動作をしたり、反対に、動作をしながらうたうのである。うたと動作が一体になることが多い。

これも亦、昔から、わらべうたやあそびの中に多く見られる。

たとえば……

戸外あそびでは——「子とろ子とろ」、「通りゃんせ」、「かごめかごめ」、「あんたがたどこさ」など。

室内あそびでは——「ずいずいずっころぼし」、「げんこつやまのたぬきさん」など。

ここでいう“手あそびうた”は当然、室内を対象とし、就中、坐して、または腰掛けた状態で行うものである。

◆手あそびうたに適する曲目と楽譜の例示

1. 指の歌
2. みぎてどっち
3. ひらいたひらいた
4. 手をたたきましよう
5. 前へうしろへパンパンパン
6. 権兵衛さんの赤ちゃん
7. げんこつやまのたぬきさん（以下略）

げんこつやまのたぬきさん

わらべうた
中野正以 編曲

The image shows a musical score for the song 'げんこつやまのたぬきさん'. It consists of two systems of music. The first system has a treble clef staff with a 4/4 time signature and a bass clef staff. The treble staff contains the melody with lyrics: 'げん こつ やまの たぬきさん おっ ぱい のん で ねんねして'. The bass staff contains a rhythmic accompaniment with fingerings 5, 1, 2, and 1, 2. The second system also has a treble and bass staff. The treble staff has lyrics: 'だっこしておんぶして またあした'. The bass staff has fingerings 3, 5 and 5. There are also some performance markings like accents (>) and a fermata over the final note.

最後（結び）に……

以上の“音楽ゲーム”は〈あそび〉の中からの楽しい音楽関連保育として、随時、カリキュラムの中に組み入れて欲しい。

なお、別個に、たとえば、園庭使用予定日が雨などで使用出来ない場合に、これを利用すると便利であると思う。